

2016年 5月 18日

各 位

東京都台東区上野 1丁目 15-3

 会 社 名 **株式会社 ナガホリ**

代表者名 代表取締役社長 長堀慶太

(コード番号 8139 東証第 2 部)

 問合せ先 常務取締役管理本部長 田端 馨
 (TEL. 03-3832-8266)

平成 28 年 3 月期通期の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 1 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期通期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績予想と本日発表の通期実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 28 年 3 月期通期の業績予想と実績値との差異について

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	20,800	400	350	165	10.76 円
実績値 (B)	21,579	▲72	▲75	▲992	▲64.75 円
増減額 (B-A)	780	▲472	▲425	▲1,157	
増減率 (%)	3.7%	—	—	—	
(ご参考) 前期通期実績 (平成 27 年 3 月期 通期)	20,238	▲33	▲13	34	2.26 円

差異の理由

売上高は、(株)ナガホリ単体は最盛期である第 3 四半期以降に苦戦した事で予想を下回るも、一部子会社の地金系商品販売の好調もあり連結売上高は期初予想を上回り増収となりました。

しかしながら、(株)ナガホリ単体で、売上総利益率について想定した以上には伸びず前年並みとなったこと、また、個人消費低迷を打開すべく販促費等を投入したものの想定した売上確保に至らなかった事から、経費増加を賄う事が出来ず、営業利益、経常利益ともに赤字を計上する事となりました。

特別損益では、直営小売店舗の減損、一部関係会社株式の評価引下げ、旧日本の減損等を実施。繰延税金資産取崩しもあり、結果、当期純利益も赤字を計上する事となりました。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上